



2008年度のスタート切る！

## ～県連総会開催される～

事務局



議長の小嶋さん

2008年度の総会が4月6日(日)13時30分から、かながわ県民センターホールにおいて来賓に朝日新聞横浜総局長南井徹氏をお招きし開催されました。

開会にあたり、田中登志生理事長から「会員みなさんと一緒に50周年を祝えたことがうれしかったし、みなさんのご協力に大変感謝しております」とのあいさつがあり、引き続き議案審議へと移りました。

議案審議では、議長に小嶋幸保さん(川崎混声合唱団)、書記に工藤めぐみさん(金沢少年少女合唱団)が選ばれ、2007年度の事業・決算報告、2008年度の事業計画・収支予算、役員改選などの審議が行われ、すべての議案が原案どおり承認されました。

### 50年の重み

議事に入り、事業報告では、6月の合唱祭から始まり、2月の記念演奏会、さらにはロゴマークの作成、連盟歌の委嘱などの50周年記念関連事業などについて報告され、あらためて50年の重みを感じました。特に連盟歌「朝の光に」は、様々な行事の中などで歌われるようになり、県連にとっても大切な宝物となりました。

また、2008年度事業計画では、新たな取り組みとして4月に合唱講習会の中でNHK全国学校音楽コンクール課題曲講習会を開催すること、12月に従来の中高生のための合唱講習会と中高生のためのヴォーカル・アンサンブルコンサートを「かながわユース・コーラルフェスト」としてリニューアルすることなどが承認されました。

### 11名が新理事に



今年は役員改選の年となり、田中登志生理事長を始め、平井副理事長、松村副理事長が再選されました。

また改選により11名の理事が新たにスタッフに加わりました。新理事は以下のみなさんです(敬称略)。

強力なメンバーを加え、県連スタッフ一同がんばってまいりますので、みなさまどうぞよろしくお願いたします。

#### <新任理事>

高校：小川英子(県立多摩高校合唱部)

大学：中村佑(横浜国立大学グリークラブ)、石田美那恵(鎌倉女子大学合唱団)

職場：栗林宏至(富士通川崎合唱団)

一般：和寺哲平(フランシス・プーランク合唱団)

婦人：神谷富美子(コール・リリカ)、原和子(女声合唱団けやきの会)、松浦ゆりや(女声合唱団藍の会)

シニア：五十嵐敏子(コーロ・セレーナ)、小宮チヨ(おたまじゃくしの会)、山下ナミ(コール・マーガレット)

## 188 団体が歌声を披露！～第 51 回神奈川県合唱祭～

今年も合唱祭の季節がやってきました。延べ 4 日間で 188 団体が参加して盛大に開催されました。ジュニア、中学生、高校生、大学生、職場、一般、婦人、シニアの全部門が揃って同じ会場で歌うのがこの合唱祭のいいところ！様々な団体が織り成すハーモニーに会場も盛り上がります。

4 日間の合唱祭では、各団体の演奏のほかに様々な企画コーナーも注目を集めています。

第 1 日目 コスチュームファッションショー、ジュニア合同合唱

第 2 日目 公開レッスン、マリンバ招待演奏、リーゼ、アカペラコーナー

第 3 日目 パフォーマンスコーナー、中高合同合唱

第 4 日目 作曲家（新実徳英）コーナー、アカペラコーナー

### ファッションショー



合唱祭初日、6 月 14 日（土）のお昼休み、4 日間に渡って開催されました合唱祭の最初のパフォーマンスコーナーとして、今年もシンフォニックドレス・ファッションショーが行われました。

毎年、ハワイエに新作のドレスをたくさん展示していただいておりますユニチカ通商さんのご協力をいただき、たいへん華麗なステージが繰り広げられました。

合唱連盟理事 3 名のベテラン男性に加え、横浜紅葉丘合唱団の小林光男さん、横浜国立大学グリークラブの中村佑さんもエスコート役として参加してくださいました。また、毎年かわいいダンスと元気な歌声を聴かせてくださるほどがや少年少女合唱団の皆さんも少しお姉さんになって登場してくださいました。

女性モデルさんは、連続 5 回出場の超ベテランモデルをはじめ、初出場の方を含め 20 名の参加となりました。ピアニストの橋本麻子さんのロマンチックな BGM に合わせ、優雅なドレスをまとい、モデルウォーク？とはいかないまでも、皆さんそれぞれに自分を（いえドレスを）？アピールしてくださいました。ファッションショーをご覧頂いた会場の皆様からは、あたたかい拍手が送られ、和やかなひとときとなりました。（草道 祥子）

### ジュニア合同合唱



ジュニア団体が合同で一つのステージを盛り上げます。指揮は松村努先生、ピアノは織田祥代先生。

連盟歌「朝の光に」に続き、「竹のように」と 2 曲の信長作品をさわやかに、そして最後にジュニア合唱祭第 25 回記念委嘱曲「ひかり」（松下耕作曲）をしっかりと歌い上げました。さすがに神奈川のジュニアコーラスはレベルが高い！と思わせる質の高い演奏を聞かせてくれました。

### 公開レッスン

桑原妙子先生を講師に迎え、公開レッスンが開かれました。受講生は県立弥栄高校合唱団のみなさん。ホルスト作曲の「Ave Maria」を題材にレッスンが行われました。

短い時間ではありましたが、桑原先生のひと言ひと言に素早く反応してみるみる表情が変わってきます。受講生にとっても、会場で聞いていた私たちにとっても収穫の多いレッスンでした。

## マリンバ招待演奏



今年の招待演奏は、古徳景子&POZOによるマリンバ演奏でした。

古徳景子さんは、日本はもとよりアメリカ、ベルギー、フランス、スウェーデン、メキシコ、アルゼンチン、オーストラリアなど各国で演奏活動を展開する世界的な演奏家。

今回は、アルゼンチンパーカッショングループ<POZO>とともに熱い演奏を聴かせてくれました。

会場もアンコールを求める拍手が鳴り止みませんでした。是非またお呼びしたいですね。



## リーゼズ

リーゼズは、県連の理事がこの日のために結成した合唱団。理事ズだからリーゼズ！

今年の指揮は、日立戸塚合唱団の岩淵正観さん。普段は合唱団員、でも今日は指揮者。歌い手の中には、普段は指揮者、ピアニストの先生方もいて立場は逆転です。

練習の甲斐もあって、すばらしい演奏が披露できたと思いますが…いかがでしたか？

～以下指揮者からのコメントです。～



指揮者デビュー…『基本に忠実に』

『来年のリーゼズの指揮をするように…』と言われたのは、忘れもしない昨年の合唱祭の反省会のとき。なにしろ指揮をするのは生まれて初めて、…。

何とか選曲をして、練習を開始したのが半年前。平井副理事長のお宅に伺って特訓を受けました。

本番は、県連の正副理事長を始め多くの理事や応援メンバーと共に、当日の講師の岸 信介、中村 義朗、桑原 妙子の3先生にも合唱に加わっていただき、全体で41名の大合唱団になりました。

司会者からインタビューを受けたときは、やや緊張気味でしたが、指揮台上ったとき、『基本に忠実に振れば大丈夫…』という平井先生のお言葉を思い出し、スッと緊張がほぐれました。

1曲目の「夜のうた」は、いつも練習で失敗していたところも無事にきりぬけ、最後の rit. も余裕をもって終えることができました。

2曲目の「Ave verum corpus」は、古今の名曲ですので、『ひたすら2拍子を正確に振る』ことだけを心がけました。

3曲目は連盟歌「朝の光に」です。練習で先生から『曲も詞もすばらしいので、この曲に対する指揮者の意思を伝えることが大切…』と言われていたので、後半のクレッシェンドの部分は、精一杯盛り上がるように振りました。

合唱のすばらしいハーモニーを感じながら振り終えたときは、まさに至福の瞬間でした。

演奏後、合唱のメンバーからは『本番が一番良かった』、『歌っていて楽しかった』と言葉を掛けられ、肩の荷が下りた気がしました。

最後になりますが、初歩から丁寧にご指導下さった平井副理事長、毎回の練習に付き添っていただいた田中事務局長、福田実行委員長、そして練習から本番までピアノを弾いて下さった篠田さんに心より感謝申し上げます。

(岩淵 正観)



スタッフのみなさん

# ジュニア合唱祭報告

ジュニア合唱祭実行委員長 志澤 彰



「第30回神奈川県ジュニア合唱祭」は4月5日13:00より県立音楽堂にて、12団体316名が参加し開催されました。今年は講師に吉田孝古鷹先生・松村努先生をお迎えしました。司会は大学会員理事のお兄さんお姉さんをお願いし、明るく元気よく始めました。

オープニングは全団体の代表者各2名がプラカードを持って入場行進をし、客席では出演者全員で吉田孝古鷹先生作曲の「そよ風は友だち」を歌い始めました。各団の演奏曲目は、中世のモテットから現代のアカペラ合唱曲・民謡・ミュージカルや振り付け付きの演奏など様々で、各団の特徴が表されていました。

最後は松村先生の指揮で合同演奏をしました。この合同演奏は、各団で事前に暗譜に近い所まで練習し、3月22日に集まり「合同勉強会」を行ない、当日にも練習し、合同演奏を迎えました。曲目は連盟歌の「朝の光に」・信長貴富作曲「竹のように」を歌いました。そしてエンディング・コーラスには、ジュニア合唱祭第25回記念に松下耕氏に委嘱した「ひかり」を全員で歌って終わりました。



この1年間各合唱祭等で連盟歌「朝の光に」は歌われたわけですが、ジュニアの演奏が最もきれいに響いた良い演奏だったのではないかと

思います。

来年の「ジュニア合唱祭」は、県立音楽堂の改修工事の影響で、2009年3月29日(日)洗足学園音楽大学前田ホール(溝の口駅徒歩7分)で行なう事になりました。会場が変わるのを機会に内容も大幅に変え、新しい「ジュニア合唱祭」を計画中です。ご期待下さい。



実行委員の皆さん

## 合唱講習会のお知らせ

- ・日 時：9月14日(日)14:00～16:30(受付開始13:30)
- ・会 場：サンハート(横浜市旭区文化センター)相鉄線二俣川駅下車徒歩2分
- ・講 師：金川明裕 (社)全日本合唱連盟理事、東京都合唱連盟副理事長
- ・講習曲：ヘンデル作曲 オラトリオ「メサイヤ」より No.24 No.25 No.26 No.41
- ・受講料：2,000円(一般)、500円(中学・高校)
- ・申込み：9月10日までにFAXで県合唱連盟事務局へ 申込専用FAX045-662-5119

## 第51回神奈川県合唱コンクールのお知らせ

- ・期 日：8月23日(土) 中学校部門(混声・同声) 高校部門(A・Bグループ)  
8月24日(日) 大学部門 職場部門 一般部門(A・Bグループ)
- ・会 場：神奈川県立音楽堂
- ・入場料：1,000円(高校生以下無料)

## お問い合わせ先

神奈川県合唱連盟事務局(平日 月～金 12:00～16:00) Tel 045-681-6033 Fax 045-662-5119

# 「第31回全日本おかあさんコーラス関東支部 神奈川県大会」開催報告

おかあさんコーラス大会実行委員長 草道祥子



4月26日(土)神奈川県立音楽堂にて「第31回全日本おかあさんコーラス関東支部神奈川県大会」が開催されました。朝から曇り空、この時期にしては少し肌寒い一日でしたが、おかあさんたちのあたたかく、やさしく、春風のようにさわやかな歌声がホールいっぱいに響き渡りました。今年、7月5日(土)、6日(日)に「第31回全日本おかあさんコーラス関東支部大会」が神奈川県の実業団により、よこすか芸術劇場で開催されます。このため、神奈川県からは20団体が関東支部大会出場へと推薦されることもあ

り、出演団体は昨年より4団体多い33団体905人の参加となりました。おかあさんコーラス大会ならではの、パフォーマンスを取り入れての楽しいステージとなりました。

また、参加団体の演奏の後に、昨年8月鳥取の梨花ホールで行われました「第30回全日本おかあさんコーラス全国大会」で見事ひまわり賞を受賞されましたママ・マルベリーの皆様にすばらしい歌声をご披露いただきました。

優秀賞10団体、優良賞10団体のあわせて20団体が関東支部大会への出場権を獲得しました。



受賞団体は次のとおりです(出演順)。

## 優秀賞

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 湘南はまゆう       | 緑フラウエンコール    |
| 女声合唱団クール・クロア | 女声合唱団「松」     |
| フラウエンコア・ヴォンネ | 樫の実コーラス      |
| ラ・カンパネラ      | 鎌倉さくらコーラス    |
| 逗子女声合唱団      | 横浜グローリア女声合唱団 |

## 優良賞

- |             |           |
|-------------|-----------|
| Asian Winds | コールなかはら   |
| 鶴沼エコー       | 桐響会       |
| 女声合唱団横浜木せい会 | ボカ・グランデ   |
| 秦野女声コール     | なぎさ       |
| コール・リリカ     | オクターブ・リング |

選考委員(50音順・敬称略)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 河合 孝夫(声楽) | 鈴木 静枝(指揮) | 瀬山 詠子(声楽) |
| 田尻 明規(指揮) | 野本 立人(指揮) |           |



スタッフの皆さん

# NHK全国学校音楽コンクール課題曲講習会開催報告

□開催日 2008年4月29日(火)  
□開催場所 県立地球市民かながわプラザ

実行委員長 金子佳弘

新学期が始まったばかりの間もない時期で各学校とも、ようやく新人部員が入り始めてきている4月末日という時期に標記講習会をNHK横浜放送局の協力の下で大々的に告知し、当日も成功裡のうちに終了することができました。講師には県連前理事長の桑原妙子先生(小・中学校部門)と、日本合唱指揮者協会理事長の古橋富士雄先生(高校部門)を迎え、モデル団体のそれぞれの特質を活かして、非常に質の高い、クリエイティブな講習をしていただきました。それぞれの部門での特徴もはっきりと出ていました。



桑原妙子先生

小学校部門では、会場の子どもを歌に馴染ませるねらいで、モデル団体の小田原少年少女合唱隊と一緒に円形に並ばせ、全体合唱を楽しく行いました。中学校部門では、会場の中学生との合同合唱も行いましたが、言葉、詩に対するアプローチの重要性を示すために、桑原先生がモデル団体の茅ヶ崎市立松林中学校合唱部の何名もの生徒に質問し、その受け答えの内容を利用しながら、会場全体で曲の持つ意味を考えていきました。



古橋富士雄先生

高校部門では大きく様子が変わりました。曲はここ数年の課題曲の中でもかなり難しい部類に入るのではないかと思います。五木寛之氏の「青春譜」という題詩に、今の合唱界で目覚しい活躍をされている信長貴富氏が曲を付けた本格的な合唱作品で、演奏には細部に亘る発声、譜読み、アンサンブル等の訓練が確実に必要な練習と、合唱伴奏の技術をよく知るピアニストの存在が不可欠と感じました。これだけ大変な曲を、モデル団体の県立多摩高校合唱部の皆さんが、古橋先生の特に関心のニュアンスの要求に順応し、この会のレベルを一段と高く引き上げてくれました。



今回部門ごとにモデル団体を立て、それぞれの団体が相当な思い入れで勉強してくれました。皆さんのたゆまざる努力とそれを支えた顧問教師の方々、そして、当日、運営にあたっていただいた役員、スタッフの皆様に深く感謝を申し上げます。

## 地域と結ぶ合唱プロジェクト講師のひと言コメント

この活動を始めて、9年目を迎えました。この9年間に、193の学校を訪問し、487件の指導を行い、延59,100人の子供たちに出会いました。神奈川県内で大活躍している8人の講師の先生方をご紹介します。



桑原 妙子先生

全国的にもユニークな神奈川県合唱連盟のプロジェクト活動がますます発展し、明るい子供たちの歌声が県内に高らかに響き渡ることを願っています。



藤原 規生先生

生き生きとした声、透明感のある歌声、そして子供たちの溢れる笑顔・・・今年もこのプロジェクトを通じて生まれる新しい出会いを楽しみにしています。



平井 保先生

合唱の喜びや楽しさを、皆さんと一緒に体験できるように、どちらへでも出かけます。どうぞお気軽に声をかけてください！



倉橋 恭子先生

ちょこっと助言するとたちまち演奏に反映する一生懸命な子供たちの姿から素直な感受性の豊かさを実感します。



福田 美知子先生

こどもたちから「大きな声で歌えて気持ち良かった!」「楽しかった!」と声をかけてもらえることが一番の喜びです。



杉山 範雄先生

歌う事の楽しさ、喜びをより多くの子供達に実感してもらえるよう、共に学びながら歌っていきたいと思います。



志澤 彰先生

わずかの声かけで、自分達の声が変わった事に気がつく子ども達の感受性に感動して、楽しみにやっています。



地崎 律子先生

沢山の子供達に出会いました。“みんな歌うことが大好き!”明るく元気な歌声は、私達に希望と勇気を与えてくれます。